

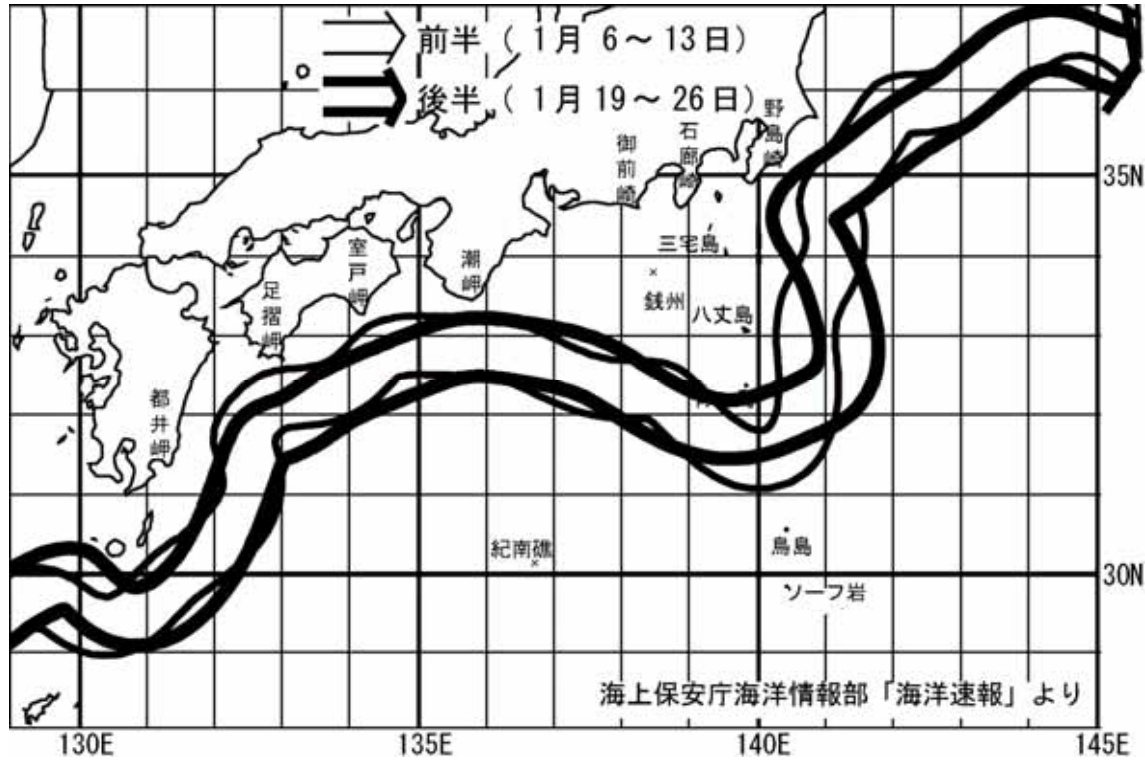
漁海況月報

平成26年 1月 1日

No. 1

～1月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.5	15.9	16.0	14.3	14.2	14.4	10.8
	-0.7	0.0	0.7	-1.3	-1.4	-0.3	-2.2
中旬	14.4	15.0	14.8	13.6	13.2	13.7	9.9
	-0.5	-0.3	0.1	-1.5	-1.8	-0.6	-2.4
下旬	13.9	14.7	14.5	13.3	13.0	13.2	10.5
	-0.6	-0.3	0.2	-1.3	-1.6	-0.8	-1.4
月	14.3	15.1	15.0	13.7	13.5	13.6	10.4
	-0.6	-0.3	0.3	-1.4	-1.6	-0.7	-2.0

[黒潮流路]

前半の黒潮は、室戸岬、潮岬でやや離岸した後、遠州灘沖を南東に進み、伊豆諸島付近で32°N以南まで離岸した。その後、伊豆諸島の東側を北上し、房総半島沖へ流れた。後半は、室戸岬では前半よりも離岸して潮岬を通過後、遠州灘沖を東南に進み、青ヶ島付近まで離岸した。その後141°E付近から房総半島に向けて北上した。

[県下沿岸域]

相模湾側では上旬は「やや低め」～「やや高め」、中下旬は概ね「平年並」であった。駿河湾では月を通じて「低め」～「やや低め」であった。

[竿釣カツオ]

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった。

竿釣りカツオ水揚量(近海+沿岸船、県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
26年 1月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
26年 1月計	0	0	-	-
25年 1月計	14	2	7.0	297
24年 1月計	24	3	8.0	363

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は722トンで前年の同漁場の水揚量(589トン)の1.2倍となった。また、1か統あたりの水揚量は103.1トンで前年(84.1トン)の1.2倍、平年(昭和57～平成25年の平均32.8トン)の3.1倍となった。魚種別の漁獲量をみるとスルメイカ、サバ類、カタクチイワシの順に多かった。

スルメイカは大半が北川漁場に水揚げされ、サバ類はゴマサバ主体であった。カタクチイワシは主に古網、北川漁場に、ブリは殆ど谷津漁場に、マルソウダは赤沢漁場で殆どが水揚げされた。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が288.3トン(スルメイカ、サバ類、カタクチイワシなど)、古網漁場が132.0トン(カタクチイワシ、サバ類、スルメイカなど)、川奈漁場が85.3トン(サバ類、スルメイカなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
スルメイカ	340.0	0.9	6.6	北川、谷津、富戸
さば類	214.6	2.6	5.1	川奈、北川、富戸
カタクチイワシ	126.9	1.6	2.8	古網、北川、赤沢
ブリ	11.6	0.6	3.3	谷津
マルソウダ	9.8	-	21.8	赤沢、伊豆山

[サバたもすくい棒受網]

年明けの水揚げは、たもすくいが14日から、棒受網は24日からとなった。小川港には両漁業によってマサバ0トン(前年同月38トン)、ゴマサバ286トン(前年同月比160%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ0.0トン/隻(前年同月2.3トン)、ゴマサバ31.8トン/隻(前年同月比284%)であった。平均単価はマサバが193円/kg、ゴマサバは101円/kgで、前月(91円)を上回ったが、前年同月(107円)を下回った。

両漁業とも、中旬は三宅で、下旬は三本、御蔵島にて操業を行った。
ゴマサバは27cmにモードを持つ2歳魚主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年 1月上旬	-	-	0	0	-	-	-	-	-
中旬	-	6	1	1	-	5.8	-	110	三宅
下旬	0	280	4	8	0.0	35.0	193	101	三本、御蔵島
26年 1月 計	0	286	5	9	0.0	31.8	193	101	
25年 1月 計	38	179	7	16	2.3	11.2	485	107	利島、三本
24年 1月 計	8	537	8	17	0.5	31.6	270	52	三本 ひょうたん瀬、三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。
* マサバは僅かに水揚量があったので、単価のみ記載した。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が110kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が169kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は138kgと前年同期(327kg)の42%、平年同期(過去5か年平均:201kg)の69%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は35.2トンで前年同期(43.8トン)の80%、平年同期(47.6トン)の74%と、前年同期、平年同期ともに下回った。平均単価は1,026円/kgと平年同期(804円/kg)を大幅に上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	0.6	1	8	74	538
舞 阪	5.4	2	30	179	565
福 田	7.6	2	43	176	702
御前崎	7.2	4	42	171	861
吉 田	5.5	4	71	77	1,119
静 岡	8.9	3	60	149	1,666
平成26年1月計	35.2	16	254	138	1,026
平成25年1月計	43.8	10	134	327	527
平成24年1月計	0.6	4	33	19	976

注)各港の数値は四捨五入しているため、各港の値を合計した値と月計値は一致しない場合がある。

平年:過去5か年(2009~2013年)平均

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは0.0トン(23kg)とほとんど無かった(平年同期26.0トン)。沼津港のマイワシの水揚げは無く(平年同期100.8トン)、カタクチイワシの水揚げも無かった(平年同期0.2トン)。静岡港のマイワシの水揚げは無く(平年同期の水揚げもなし)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期の水揚げもなし)、伊東港のマイワシの水揚げは0.9トン(平年同期71.0トン)で昨年6月以降まとまった水揚げは無い。

注)平年:過去5か年(2009~2013年)平均

[調査船の動向]

駿 河 丸

1月7日 ~ 1月9日	地先定点観測調査	(3日間)
1月14日 ~ 1月15日	さば類撒餌試験及び標識放流調査	(2日間)
1月16日 ~ 1月17日	タチウオ調査	(2日間)
1月20日 ~ 1月21日	サクラエビ(IKMT)調査	(2日間)
1月22日 ~ 1月23日	シラス調査及びハダカイワシ(MOHT)調査	(2日間)
1月29日 ~ 1月30日	さば類撒餌試験及び標識放流調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

